

委員会レポート 建設産業委員会

一番田地区
管渠築造工事
熊本橋に近い一番田十組、十一組、十三組の面整備です。
工事長一、〇八メートルで開削工法で硬質塩化ビニール管二〇〇ミリを深さ二メートルに埋設するものとっています。

須恵地区
管渠築造工事
須恵区の松ヶ浦地区でゼネラルアサヒ印刷団地横の面整備です。
工事長二五メートルで開削工法で硬質塩化ビニール管二〇〇ミリを深さ一メートルから一・五メートルに埋設するものとっています。

甲植木地区
管渠築造工事
大塚池より東中学校に向かい、筑紫野古賀線の高架手前までの面整備です。
工事長三九七メートルで開削工法で硬質塩化ビニール管二〇〇ミリを深さ二メートルから二メートルに埋設するものとっています。

実施設計測量業務委託
甲植木地区及び山の神地区の一部分で、委託面積一四・七ヘクタール、測量面積一四・七ヘクタール、設計延長四、一四四メートルとなっています。



現場説明を受ける建設産業委員会

補償費
須恵地区、一番田地区、甲植木地区の管渠築造工事に伴う水道管切替工事の補償費となっています。
事業費は、二億三千二百万円、財源内訳としては、国庫補助金五千八百万円、町債一億六千二百四十万円、一般財源一千六百六十万円となっています。
(全員賛成で可決)

水道工事
下水道工事の国庫補助事業の追加工事に併せて水道管切替工事を行うものです。
須恵地区水道管切替工事は、工事長七三メートル、一番田地区水道管切替工事は、工事長一、〇一四メートル、甲植木地区水道管切替工事は、工事長三九七メートルで、硬質塩化ビニール管、ポリエチレン管、ダクタイル鉄管等を埋設します。
下水道工事施工前に水道に係る仮設配管を行い、本管は下水道管理設後に下水道掘削断面内に布設していきます。
事業費は、三千九百万円、一般財源です。
うち、三千三百万円を下水道の方からの補償費として受け入れ、工事施工していきます。
(全員賛成で可決)

工事

下水道工事

国庫補助事業の要望確定による追加工事です。

須恵地区

管渠築造工事

甲植木地区

管渠築造工事

ものです。

人孔三五箇所、附帯工事となっています。

委員会レポート 総務文教委員会



新庁舎、国内有数のシステムを完備して完成!



粕屋南部消防署 新庁舎

総務文教委員会で南部消防署新庁舎を視察しました。
粕屋南部消防本部は、昭和四十八年に須恵・宇美・志免の南部三町の組合で設立し、昭和六十一年、粕屋・篠栗・久山の中部が加入し現在に至っています。

平成三年には中部消防庁舎が自治会館を兼用して建設され、現在は二つの消防署に、十一台の消防車、五台の救急車を保有し、百三十三名の署員が、六町(総面積一四五・七〇平方キロメートル、総人口約十八万人(約六万六千世帯))の生命・



消火体験を行う総務文教委員

財産を守っています。
庁舎は、国の新しい耐震基準に合わなくなったこと、老朽化していること、数回の増築により使用しづらくなったこと、また通信司令室のシステム・規模が基準を大幅に下回っていることから建て替えに至りました。
新庁舎は、面積規模も拡大し、通信指令室は全国的にも有数のシステム・規模を導入し、使用しやすくなっています。
また、五つのトライ・セブの「スタディー」と称して平日の九時から十七時まで、誰でも自由に見学ができます。

事前に申し込めば、シター・地震体験・風体験・消火体験・煙体験・通報体験」等ができる防災センターを併設しています。
助かるはずの命を救うために、
先般、粕屋南部地域防災協会主催による、屋内消火栓・消火器操作大会が、中部消防署において延べ三十一チームの参加で行われました。
また、同大会のアトラクションとして、AED(電気的除細動)デモンストラクションが行われました。



南部消防署新庁舎 通信指令室

これは、電気ショックにより心臓のけいれんを除くもので、安全な機械の開発により、一般の人でも講習を受けると使用できるようになりました。
須恵町でもこの機械を購入し、消防団員等多数講習を受けています。
まだ機械数、受講者数とも少ないので、除々に増やしていきたいもの向上につながって欲しいものです。